

鈴木良平著 我國民ノ天職 全

159  
142

159-142



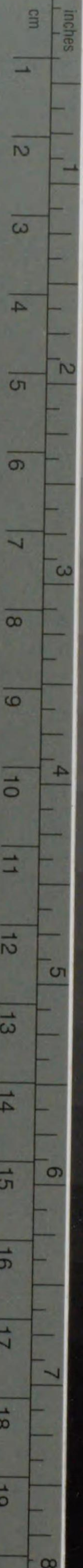
\*1200800106234\*

# Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak

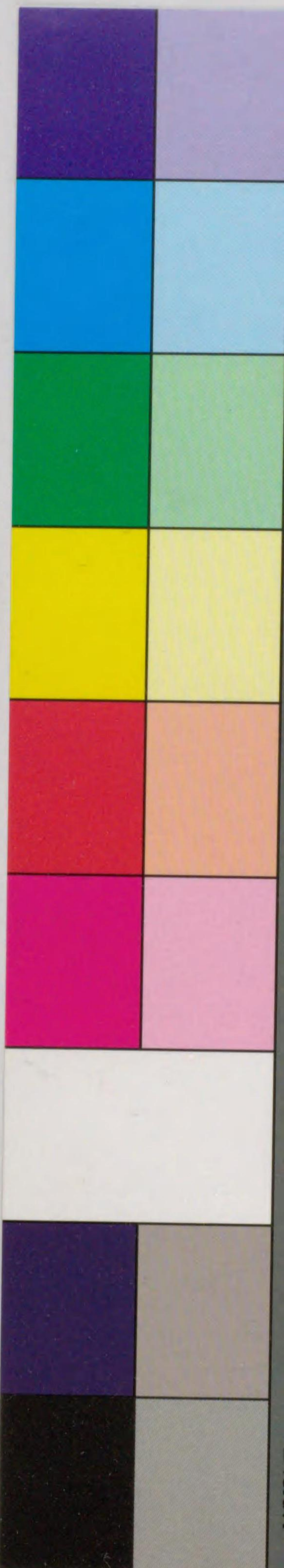
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



## Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak



159-142



鈴木良平著

我國民ノ天職

著者寄贈本



齋ヲレ	現ハレ	第一ノ年級上ノ字	吾人ハ我國民	世界ノ	當家輩	籍リ	拘ラス	叩カ	叩キ	懸ル	立証	保証	不方如キ	直チニ	傷ツク	積大	或物	或物	真操・陳蘭	盛ニ	政治家輩	甚クシキ	若クシ	彼レニ	彼レ等	彼自レ	精確	暇	誤
齋ニ	現レ	第一ノ年級下ノ字	吾々我國民	諸君ノ	富豪輩	藉リ	拘ラス	叩カ	叩キ	懸カレ	立証	保証	附典スルカ如キ	直チニ	傷ツク	積大	或物	或物	真操・陳蘭	盛ニ	政治家輩	甚クシキ	若クシ	彼レニ	彼レ等	彼自レ	精確	暇	誤

3 1 39 38 38 37 37 38 32 31 37 36 32 31 29 28 20 17 17 17 15 13 13 12 12 8 7 7 6 2 1  
 頁 目 序

3 1 14 3 13 6 7 4 6 3 1 3 13 12 1 6 14 6 7 5 11 12 9 11 9 3 6 5 4 7 2 6  
 行 目

自 序

林 尚 足 下 見 奴 隸 ノ 如 下 毒 人 毫 毛 酒 池 肉  
 俯 唐 使 セ ラ 見 レ 奴 隸 ノ 如 下 毒 人 毫 毛 酒 池 肉  
 ク 衛 ス ル 能 ハ ス 只 管 鬼 ノ 泣 踏 マ レ 蹴 ラ ル モ 如  
 抑 ハ 難 キ 無 念 ノ 涙 二 身 乾 血 ク 暇 ナル シ 亦 吾 々  
 世 界 ノ 同胞 殺 戮 ス 苦 慘 ノ 膏 血 ラ 注 キ テ 細  
 磨 互 二 相 殺 炭 火 ノ 同 胞 ヲ 救 ヒ 世 界 ノ 平和 細  
 民 不 幸 者 ヲ 塗 炭 ノ 苦 胞 ヲ 救 ヒ 世 界 ノ 平和 細  
 確 保 シ 以 テ 世 界 同 胞 ヲ 救 ヒ 世 界 ノ 平和 細  
 免 保 シ 以 テ 世 界 同 胞 ヲ 救 ヒ 世 界 ノ 平和 細  
 天 職 ラ シ ム ル シ 得 ル 者 ハ 正 義 人 道 平 和 ノ 爲 ニ

ハ如何ナル犠牲ヲモ辞セザリシ世界ニ比類ナ  
 キ建國以來三千年ノ光輝アル歴史尊キ國民  
 性ヲ有スル我國民吾々ヲ措キテ他ニ之ヲ求  
 ヲ難シ即チ我國民吾々ノ天職ナリト信ス吾  
 人ハ此天職ヲ完ウセシカニ為テ敢テ我國民ノ  
 反省及奮起ヲ促ス所以ナリ

大正八年五月三日

本郷區元町ノ寓居ニ於テ

著者識

我國民ノ天職 目次

第一編 世界ノ同胞

第一章 理想實現ト航空術

第二章 民族ノ迷夢ト眼界ノ推擴

第二編 我國民

第一章 我國昔時ノ社會事情

第一節 我皇室

第二節 武將武士

第二章 我國現時ノ社會事情

第一節 資本家主人

第二節	惡潮流
第三節	官吏
第四節	華族
第五節	政治家
第三章	天職

我國國民ノ天職 目次終り

我國國民ノ天職

鈴木良平著

第一編 世界ノ同胞

第一章 理想實現ト航空術



凡夜精確緻密ナル望遠鏡ヲ以テ天空ヲ凝視スレハ今迄肉眼ニテハ見エサリシ多数ノ星現ハレ更ニ一層精密緻密ナル物ヲ以テスレハ更ニ一層多数ノ星現ルト果シテ然ラハ更ニ更ニ一層精確緻密ナル物ヲ以テハ更ニ一層多数ノ星現ル、コトナラン斯ク推究シテ窮極ナキトキハ此ノ天空ハ上下左右ニ際涯ナク星モ亦四方ニ無限ナラン而シテ彼火星ニハ人類生存シ(吾人類似ノモノナルヤ否ヤ固ヨリ明ラカナラス)且ツ文明文進ノ形跡アリト果シテ然ラハ此際涯ナキ天空即チ宇宙ニハ斯ノ如キ星ハ幾億兆アルヤ測知スヘカラス而シテ我地球ヲ是等幾億兆ノ星辰中ノ一ツトシテ考フルトキハ一家ニシテ

地球ニ生存スル吾々世界ノ人類ハ家族即チ同胞兄弟ナリサレハ吾々  
世界ノ同胞ハ互ニ相親愛シ一家團聚ノ実ヲ擧ケ益々人智ノ發達文明  
ノ進歩ヲ致シ以テ宇宙ノ親族(太陽系ノ諸星ニ生存スル人類)宇宙  
ノ朋友(太陽系以外ノ星辰ニ生存スル人類)ヲ訪テ宇宙ノ本俾ヲ明  
ラカニ宇宙ノ迷霧ヲ覺醒シ宇宙ノ文明ヲ一新セサルヘカラス。  
不屈ノ勇氣ト不撓ノ大確信トヲ以テ彼岸ノ火星ヲ凝視シテ天空ヲ  
雄飛シ以テ其ノ目的ヲ達シ彼我ノ迷霧ヲ覺醒シ彼我文明ヲ一新スベキコ  
ロンブスニ在リ出現ハ噫々何時ノ日ナルカ。  
熟シ過去數十年間ノ人智ノ發達文明ノ進歩ヲ考フルトキハ吾々ノ  
努力如何ニヨリテハ「コロロンブス」ニ世ノ出現必スシモ不可能事トシテ  
一概ニ之ヲ排斥スルコト能ハスト信ス蓋シ封建時代ニ於テ江戸ヨリ  
天空(印度)ニ向ヒテ天空ヲ雄飛シ以テ其ノ目的ヲ達スル者ノ出現  
ハ何時ノ日ナルヤト云ヒシ者アリシナラハ談時代ノ人智文明ヲ隔ツ  
ルコト甚遠ニシテ時人必スモ元ハ不可能事トシテ顧ミサリシナラン

然ルニ談時代ヲ経ル數十年ヲ出テスシテ元ハ可能事トナリケレハ  
ナリ。

噫々今次ノ大戦亂ニ依リテ各交戦國カ熾性ニシタル夥大ナル費用  
ト無数ノ生靈トヲ此航空術ノ進歩發達ノ為ニ擧ケケリシナランニハ  
縦シヤ「コロロンブス」ニ世ノ出現ヲ齎ラシ以テ宇宙ノ文明ヲ一新ス  
ル途ニハ至ラストスルモ吾々世界ノ兄弟ノ交阻及親愛ヲ便塞ナラシ  
メ以テ一家團聚ノ実ヲ擧ケ得シコトナラン。

野蠻悲慘極マル戦争ヲ防止シ世界ノ平和ヲ確保スルニ至大ノ效力  
アルモノハ軍備削減ニ非ス亦國際聯盟ニモ非ス實ニ航空術ノ發達其  
モノナリト信ス。

サレハ吾々世界ノ同胞ハ滿腔ノ熱誠ヲ以テ航空術ノ進歩發達ニ志  
カシ以テ吾人ノ理想ヲ實現セサルヘカラス。

第二章 民族ノ迷夢ト眼界ノ推擴

前述セル如ク吾々世界ノ同胞ハ互ニ相親愛シ一家團樂ノ実ヲ嘗ケ  
サルハカラサルニ拘ハラズ國家ノ牆壁ヲ設ケ吾々自身ノ自由ヲ束縛  
スルノミナラス吾々自身ノ膏血ヲ注キテ鋌ヲ磨レ互ニ相救戮ス悲慘  
此上アル可カラス。

世界一人類元ト一其子孫所ヲ異ニシテ生存シ亦其子孫前述ノ如ク  
其亦子孫モ前述ノ如ク血縁漸ク遠ク子孫繁榮スルニ及ヒ比較的進キ  
始祖ヲ同クスル子孫相團結シ茲ニ始テ民族ノ基礎ヲナシ其子孫益  
々繁榮スルニ及ヒ團結ハ益々強固ニ民族ハ愈々榮達シ遠ニハ各民族  
互ニ相敵視シ弱肉強食強固ナル一民族他ノ一民族又ハ數民族ヲ滅亡  
併合シ進ミテ國ヲナシ以テ今日ニ及ヘルモノナリ故ニ感情行懸ヲ排  
シテ眼界ヲ推擴スルトキハ今迄異民族ト思惟セシ民族モ全一民族ト  
ルコトヲ悟リ更ニ更ニ推擴スルトキハ世界ノ人類ハ皆是全一民族即

于同胞兄弟ナリ故ニ吾々世界ノ同胞ハ今日迄ノ感情行懸ヲ排シ眼  
ヲ推擴レ互ニ相親愛シ以テ世界ノ平和ヲ確保シ一家團樂ノ実ヲ嘗  
サルハカラス。

第二編 我國民

第一章 我國昔時ノ社會事情

第一節 我皇室

我國ハ建國以來三千年一日ノ如ク上ニ英明ナル天子在レテ下我國  
民ヲ赤子ノ如ク愛撫セラレ亦外國人ヲ同胞ノ如ク友愛セラルサレハ  
我國民ハ聖德ニ感喜スルコト限りナリ天皇ヲ仰リコト慈父ノ如ク上  
下親愛以テ今日ニ及ヘリ大イニ吾人我國民ノ誇トスル所ナリ。

殊ニ仁徳天皇ハ畏リモ人民ノ貧苦ヲ愍察遊サレ三年間免稅ヲ斷行セ  
ラレ銳意人民ノ福利増進ニ御珍念遊サレ皇居壞レ漏雨衣袂ヲ沾スモ

厭ハセラレヌ茲ニ於テカ人氏ハ帝ノ大無邊ナル仁徳ニ感泣シ望定  
ノ為メニハ如何ナル犠牲ヲモ辞セサルノ念ヲ益々確實ニセリ即チ君  
國ノ為メニハ死ハ鴻毛ヨリモ軽キヲ誇トスルニ至レリ。

## 第二節 武將武士

中世武將政權ヲ掌握セン以未被武將專心自己ノ權勢ヲ維持センカ  
為ニ名ヲ天皇ノ代理ニ藉リ叙ヲ以テ上下ノ間ヲ塞キ人民ノ農工商  
民ノ犠牲ニス即チ武將武士ノ輩人氏ノ膏血ヲ絞リテ宏壯雄大ナル  
城郭邸宅ヲ構ヘ河池肉林尚足ラス。醉フテハ亂暴根藉良民ヲ斬殺シ  
狂テハ歌怨強奪婦女ヲ蹂躪ス慘虐無道此上アルヘカラス若レ以上ノ  
暴虐ニ對シテ及抗センカ已独リ斬殺ニ遭フノミナラヌ累禍ハ延ビテ  
親族ニ及ブサレハ人氏ハ奴隸ノ如ク踏マレ蹴ラレ殺サルハモ防衛ス  
ル能ハス只管鬼ノ涙ニ絶ルノ外ナリ抑ヘ難キ無念ノ涙ニ咽フコト幾  
百年明治ノ維新ニヨリ政權再ヒ皇室ニ級シ万機親裁ノ世トナリタレ

トモ此ノ封建ノ惡弊凡ハ深ク深ク朝野ニ浸潤シ今尚依然タリ。

## 第二章 我國現時ノ社會事情

### 第一節 資本家主人

現時資本家主人ノ輩自己ノ利益増大ニノミ吸クトシテ勞働者使用人  
ヲ虐使スルコト牛馬ノ如ク

一 其ノ斃ル、ヤ捨テ、鞭ミス境々只管此ノ不幸者ノ努力ヲ命ノ綱  
ト頼ミ居リシ家族ノ悲嘆ヤソモ如何ニ不幸中ノ幸ニシテ彼不幸者  
ニ代ルヘキ健者アラハ免モ由不幸ニシテ彼レニ代ルヘキ者ナカラ  
ンカ飢餓ニ迫ル噫々彼レ等ハ餓死スルナランカ乞馬トナルナラン  
カ降又獄裡ノ人トナルナランカ。

二 幸カ不幸カ斃レサル七職ノ為メニ失明レ又ハ手足ヲ失ヒ其ノ他  
一生ノ不具者トナリ活動不如意トナランカ非道ニモ追放セラル茲  
ニ於テカ彼不憫ナル不具者恨ヲ吞ミテ世ヲ去リ、飢餓ニ迫リテ乞



巧トナリ、餓死シ或ハ獄裡ノ人トナル

三、弊レス不具者トナラスト雖、虐使ニ堪ヘ兼不病者トナルモ医師ヲ招クノ費ナク徒ラニ病床ニ呻吟シ窮極前途ノ非嘆ニ終ル。

四、幸ニシテ弊レス不具者病者トナラサルモ業ヲ畢ユレハ心身疲勞シ亦働クノ勇ナシ働カサランカ不食スル能ハス故ニ於テカ此疲勞ヲ慰愈シ勇氣ヲ増サンカ為メニ慰安營養劑ヲ傾仰センカ忽チ生活

難ニ襲ハル。

實ニ同情ニ堪エサルナリ噫々彼等(勞働者使用人)ノ生活ノ不安定ナルヲ風前ノ燈火ノ如シ彼等ハ此苦痛此不安定ヨリ免レンカ為メニ同志ヲ呼合シテ生活ノ安定ヲ要求センカ彼資本家主人輩ノ奸策又ハ官憲ノ壓迫ニ遭フテ果ス能ハサルノミナラス反ツテ時ニ失職ノ憂目ヲ蒙ルコトアリ茲ニ於テカ彼等(勞働者使用人)ハ法ノカニヨラントスルモ彼等ハ選挙権ヲ有セサルカ故ニ彼等ヲ代表スル政治家ヲ得ル能ハス表情ヲ訴フルモ彼強慾非道ナル政治家ニ妨ケラレテ通ゼス

斯クテ彼等ハ手モ足モ出ス只管鬼ノ淚ニ繼ルノ外ナリ益々貧困ニ陥ル。

然ルニ彼資本家主人ノ輩ハ勞働者使用人ヲ犧牲ニシテ多大ナル利益ヲ得ルノミナラス更ニ選挙権又ハ金力ヲ以テ政治家ヲ雇用シ或ハ彼等ト結託シテ自己ノ利益ノ増大ニ振目ナン、斯クテ貧富ノ懸隔ハ彌カ上ニモ甚大トナリ遂ニハ富豪資本家政治家ノ輩ハ細民勞働者使用人ノ怨恨憤怒ノ標的トナリ果テハ恐ルヘキ不祥事ヲ勃發スルニ至ルコトハ諸國ノ例ニ徴スルモ明ラカナリ。今ニシテ此不祥事ノ勃發ヲ未然ニ防カスンハ白日必スヤ齒ヲ嚙ムノ悔アラン。

嗚呼我親愛ナル賢明ナル資本家主人ヨ此社会ノ趨勢ヲ洞察シテ仁徳ヲ以テ勞働者使用人ヲ憫ミ同情シ一日モ早ク彼等ノ苦痛ヲ軽減シ彼等ノ生活ノ安定ヲ保証シ和氣諧々協同一致營業ノ繁榮産業ノ榮達ヲ図リ範ヲ諸國ニ示サレンコトヲ諸君ノ永遠確實ナル安全ノ為メニ諸君ノ細ク長キ最モ賢明ナル最モ大ナル利益ノ為ニ勞働者ノ生活ノ

安定ノ為ニ諸君ノ誇我固ノ誇ノ為ニ切言シテ止マヌ。

大徳ハ無慾ニ似タリ若シ諸君ニシテ尚頑迷不靈ニシテ彼勞働者使  
用人ヲ犠牲ニシテ顧ミオランカ大厦高屋金銀財宝ヲ有スルモ后日居  
ル能ハス用エル能ハサルニ至ルヘシ事茲ニ至リ噫彼ノ時彼ノ言ニ從  
ヒナハナト斯カル歎マアランナト悔ユルモ及ハサルナリ殷鑑遠カ  
テス露固ニアリ豈省ミサルヘケンヤ。

### 第二節 惡潮流

惡潮流トハ權勢家富豪輩若シクハ是等ニ阿媚スルノ徒弱貧者ヲ侮  
虐シ又ハ巧ミニ或ハ附和雷同シテ虛偽ノ風説ヲ流布シ人ノ名譽ヲ毀  
損シ以テ人ノ進運ヲ阻害スル風習ヲ云フ。

余輩田舎ノ相当ナル家ニ生レシモ不幸倒産ノ厄ニ遭ヒ加フルニ幼  
少ニシテ母ヲ失ヒ十一才ニシテ他家ニ小傭タルフト一年有る后慈父  
ノ努力ニヨリ中学ノ科程ヲ修メ（卒ニ非ラス小学ハ正味五年形式高

三修中学前半ハ正式ナルモ後半ハ達成造ハ全ク一日モ早ク世ニ出テ  
父ノ負担ヲ減セントノ余輩一何ノ意思ニ出テタルモノニシテ父ニハ  
偽リニ止キ言ヲ敢テシタリ罪輕カラス）会社ニ個人ニ事務員トナリ  
或ハ勞働ニ從事シ時ニ急々浪々幾多ノ衆遷ナキニアラサリシモ自己  
ノ所信ヲ貫徹セントノ意思ニ至リテハ今ニ至ル迄寸毫ノ變化ナシ今  
后ト虽モ亦然リ不幸先年病氣以來兎爾健康優レヌ出テ、曠職金ヲ貪  
リ窮極自他ヲ損スルハ当ヲ得ヌ不孝不本意ナレ氏父ノ仁慈ニ繼リ目  
的ヲ達スルニ如カスト決シ精勵以テ今日ニ及ヘリ。

然ルニ何ソ知ラン彼ノ惡潮流者輩巧ミニ法網ヲ濫リテ余輩ヲ目シテ  
不良少年墮落者ノ如ク數吹シ世ヲ惑ハシツ、アラントハ、

一、不良少年トハ何ソ是カ抽象的定義ハ暫ク措クモ吾人カ日々新聞  
ニ言伝ニヨリ見聞スル所ニヨレハ學業ヲ怠リ他人ノ物ヲ犯シ又ハ婦  
人ヲ辱シムルノ輩ヲ云フニ非スヤ亦

二、墮落者トハ學業ヲ怠リ女ニ迷ヒ又ハ女ヲ迷ハスノ徒ヲ云フニ非

スヤ

顧ミレハ余輩過去二十有布年（后七ヶ月ニテハマ満三十年）悪戦苦闘時ニ飢餓ニ迫ルコトナキニ非サリレモ未タ曾テ

一、他人ノ物ヲ犯シタルコトアラス亦犯サントシタルコトモ非ス

二、婦人ヲ辱シタルトハ以テノ外未タ曾テ婦人ト肉交シタルコト非

ス

三、女ニ迷ヒタルコトモナク、

四、女ヲ迷ハセタルコトモナシ、

五、若志学業ニ至リアハ病氣其ノ他止ムヲ得サル場合ヲ除ク外銳意

自己ノ目的ヲ達スルニ必要ナル学業ノ修養ニ餘念ナシ、

然ルニ余輩ヲ目シテ不良少年墮落者トハ何ソ人ヲ誣フルノ甚ダシキ

然レトモ火ノ無キ所ニ煙ハ立タヌノ譬強ヒテ原因ヲ探索センカ稍々

首肯スヘキ点三ツアリ

其一、余輩心身疲勞ノ場合ニ於テ些少ノ感動及働作ニモ時ニ逆上シ

親ニ朱ヲナスコトアリ即チ是カ

是心身ノ疲勞及病氣ノ致ス所ナランモ彼ノ惡潮流モ亦其一大原

因ヲナス否寧口此惡潮流因而以テ余輩ヲシテ病氣及心身ノ疲勞

ヲナサシメ以テ此朱ヲナサシムト云フモ不可ナシ聊カ其ノ理由

ヲ説明セシカ

余輩夙ニ職業神聖万人平等ノ念ヲ抱持シ權勢家富豪ニ阿媚セヌ

（但シ温情懇切ナル人ニ対シテハ相当敬礼ヲ卑リ尊重敬服スルマ

勿論ナリ）貧者新平民ハ勿論罪人乞丐ト雖モ敢テ侮ラス否寧口

彼等ハ憫ムヘキ同情スヘキモノニシテ強慾無道ナル政治家輩彼

等ヲシテ其ノ茲ニ至ラシムルモノナルコトヲ思ヒ權勢家富豪ト

毫モ區別セヌ余輩ノ此ノ態度ニ快カラサル彼ノ惡潮流者輩余輩

ヲ苦シマシメントノ意ナランカ態度ヲ以テ或ハ苦働ヲ以テ盜ニ

巧ニニ鼻筋ニ侮辱圧迫ス敢テ齒牙ニ懸ケスト虽ハ余輩固ヨリ木

石ニ非ス時ニ憤激シ逆上シ顔ニ朱ヲナシ又強イテ憤怒ヲ抑ヘン

トシテ未ヲナスコトアリタリ彼ノ悪潮流者輩益々跋扈跳梁スルニ及ヒテハ遂ニ神經過悔想像過大氣障病的トナリ心身疲勞ノ場合ニ於テハ些々タル感動及働作ニモ時ニ逆上シ此未ヲナスニ至レリ。

噫々蓮然トシテ輕忽昇方ナル匹夫ノ悪潮流ニ奮然反抗シテ染マヌ聊カ所信ヲ貫徹セント慾セハ叱圧迫ニ遭フ無念此上アルヘカラス。

今ヤ濁流滔々トシテ地ヲ松ヒ弱貧者ヲ翻弄侮虐シ至レリ尽セリ正義憤望ノ士モ何時シカ濁流化シ今ヤ孤城落日ノ感ナキニアラサレヒ漸次正義人道ノ恢弘セラレトスルノ時惡運濁流夫レ何日迄永續スルモノソ吾人ハ奮闘努力シテ濁流ノ源泉ヲ枯絶シ吾々弱貧者ノ幸福ヲ一日モ早ク齎サハルヘカラス。

其二、余輩固ヨリ偶像ニアラス時ニ茶言ヲ試ミルコトナキニアラス或ハ是カ

其三、佛地ノ近拜是カ、

国家社会ヲ毒スル輩数多シト云モ金力地位名望ヲ悪用シ以テ婦人ノ貞操ヲ蹂躪スル好色上流輩好色富豪輩ヨリ甚シキハナシ、聞ク某上流輩良家ノ子女ヲ辱シムルコト数千人ニ及フト亦某富豪酒池肉林尚足ラス婦女ヲ毒辱スルコト實ニ數百ニ近シト噫々是豈驚クヘキ恐ルヘキ由々敷大事ナラスヤ而シテニ者何レモ惡疾瘴アリト云ヒハ其病毒ハ楮リ彼等ノ犧牲トナリシ是等數百ノ婦女ニ止マラス其ノ子孫ニ流及スヘキニトヲ考フルトキハ實ニ恐嘆ノ外ナシ而シテ現時我國ノ上流社会富豪社会ニ一夫能ク一婦ヲ守リ他ヲ顧ミサル者幾人カアル彼等ノ多数ハ前述ノ好色輩ノ如ク甚シカラスト虽酒池肉林尚足ラス貞操ヲ蹂躪ニ吸々狂奔シテ止マヌ是金ヲ封建時代ノ遺風ニシテ現時我國上流社会富豪社会ノ一大惡弊凡ナリ。

上ノ為スコト下皆之ニ倣フ此惡弊凡ハ中流下流社会ハ勿論親睦

ヲ蓄ケル書生輩ニマテ浸潤シ其ノ害毒ヲ甚大ナル実ニ驚嘆ノ外  
 ナレ即チ中流下流及書生ノ輩上流富豪社会ノ酒池肉林ヲ夢ミ家  
 計又ハ學費ヲ割キテ妾媵ヲ玩弄シ藝猫ニ戯レ娼花ニ浸レシ或ハ  
 セツ道具ヲ以テ顔面ヲ修飾シ美衣ヲ纏フテ婦女ニ阿媚シ女生ノ  
 尻ヲ追廻シテ憚ラス実ニ精嘆滑稽ノ極ミナリ、  
 斯クテ物資件ハサレハ忽チ惡事ヲ働キ狂乱煩迷シテハ自他ヲ殺  
 傷シ婦女ヲ姦淫シ以テ人ヲ悲嘆セシムルノミナラス亦能ク貞婦  
 フシテ病毒ニ家庭紊乱ニ泣カシム、  
 諸犯罪諸病毒ノ原因實ニ此ノ惡弊凡ニアリト云フモ過言ニ非サ  
 ルハシ恐ルヘキハ惡弊凡ナリ、  
 我賢明ナル政治家ヨ此惡弊凡ノ国家社会ヲ毒スルコトノ如何ニ  
 甚大ナルカヲ考察セラレ風前ノ燈火ノ如キ健康ノ不安定ナル我  
 幾百万幾千万ノ貞婦淑女ノ為メニ病毒犯罪家庭紊乱防止ノ為ニ  
 即チ国家々庭ヲシテ永遠ニ確實ニ圓滿健全幸福安泰ナラシムル

為メニ良良法ヲ制定シテ此惡弊風ヲ矯正セラレシコトヲ切望シ  
 テ止マス、

我幾千万ノ婦人ヨ愛國ノ士ヨ正々堂々懸河ノ辯筆ヲ揮ヒ大イニ  
 正義人道ヲ叫フヘシ亦大イニ争フヘシ、

識者記者著作家ヨ或物ニ擬ハレ或ル者ニ眩ミテ巧色輩ヲ曲筆擬  
 護稱揚シ彼等ノ魔ノ手ヲシテ益々広大セシムルコト勿レ、

当局者ヨ或一物ニ擬ハレ或物ニ眩ミテ巧色輩ノ取締ヲ忽セシレ  
 彼等ノ害毒ヲシテ愈々容易ナラシムルコト勿レ、

噫々余輩ニシテ若シ世ノ淫色輩ナリシナランニハ余輩ノシメニ  
 毒セラレシモノモ亦劫カラサリシナラン、蓋シ毒スヘキ機会多  
 クアリタレハナリ、

余輩固ヨリ宗教信者ニ非ズ從ツテ聖書ヲ手ニシタルコトナケレ  
 氏婦女ヲ傷ツクルハ罪ナリト信シ（世ニハ「キリスト」ノ假面ヲ被  
 リ良家ノ子女ヲ傷ツケル者多クアリト聞ク）素人ハ勿論娼媵ト

スラ未夕曾テ肉交シタルコト非ス。

吾即チキリストヲ以テ住シ謹抑自制正々端々以テ今日ニ及ヘリ  
不幸一昨年未健康甚夕優レス殊ニ昨夏ニ至リテ病勢愈々募ル因  
ツテ已ムヲ得ス転地ヲ切願スレトモ許ヲ得ス煩悶懊惱日アリ偶  
々併地ノ開帳ニ過フ即チ之ニ頼ルノ外ナキヲ信シ尊所ヲモ省ミ  
ス敢テ近拝シタリ稍々不敬ニ近シ。

然レ氏是全ク切願成就ノ為メニ一時無心ノ不敬ヲナシタルニ過  
キスレテ本心ハ飽迄恐縮正々端々何等ノ変化ナシ。

以上三ツ以外ニ原因トシテ探索スヘキモノナシ彼ノ悪潮流者輩此三  
ツヲ膨大誇張シ又ハ全ク捏造虚ヲ構ヘ巧ミニ法網ヲ濬リテ虚偽ノ凡  
説ヲ流布シ余輩ノ名譽ヲ毀壞シ以テ余輩ノ進運ヲ阻害ス実ニ扱ヒ難  
キ老輩度シ難キ若輩ナリ今尚ホ此ノ種ノ輩依然タルノミナラス時ニ  
妨害ニ近キコトアリ、  
古今東西ヲ問ハス此種ノ徒ノ常トシテ好策ヲ回ラシ人ヲ中傷シ妨害

シ世ヲ惑ハシ果テハ其ノ身ヲ滅ス例ハ数知レス、

讀者諸君ヨ前述ノ余輩ノ陳実ヲ改却スルカ如キ即チ余輩ノ二十有余  
年ノ此刻苦ヲ林救スルカ如キ言傷ヲナセシ者アリシナラハ御一報ヲ  
乞フ

時々何處ヨリトモナク悪噂声漏レ置エ (老毒婦輩不良青年ノ徒カ)  
因テ黙過スルハ余輩ハ勿論社会ノ為ナラスト信シ確証ヲ押ヘントス  
ルモ未夕ニ得ス頗ル遺憾ニ堪エス、

一犬虚ニ吠ユレハ百犬実ヲ傳フ是等悪潮流者輩ニ誤マラレ此口惜シ  
キ冤ヲ晒クニ由ナク法廷ニ獄裡ニ又ハ陰然入知レス涕泣煩悶懊惱一  
生ヲ不遇ニ終ル者ナキヤ亦無念遣ル瀬ナク恨ヲ吞ンテ世ヲ去ラント  
スル者ナキヤ憶一度茲ニ至レハ嗚咽禁スル能ハス。

悪潮流者ヨ汝等ノ輕忽卑劣ナル言働能ク人ヲ憤激セシメ以テ病的ニ  
十ラシメ冤ニ泣カシメ煩悶懊惱セシメ以テ身ヲ誤ラヌノミナラス自  
己ノ品位ヲ傷ツケ果テハ身ヲ滅ホスモノナルコトヲ思ハ

悪潮流者ヨ彼弱貪者ハ憫ムヘキ同情スヘキモノナルコトヲ思ヒ  
権勢家富豪ニ阿嬾セス即チ武威モ屈スル能ハス富貴モ淫スル能ハサ  
ル大丈夫ノ心ヲ以テ権勢家富豪ト弱貪者ト毫モ区別スルコト勿レ  
救親愛ナル同胞ヲ蘆然トシテ堅忍持久彼ノ輕忽卑劣ナル匹夫ノ濁流  
ニ染マルコト勿レ、  
叔カ親愛ナル兄弟ヨ外形又ハ言傳ヲ以テ豊チニ事ヲ断セハ右曰ハス  
ヤ暗ヲ齒ムノ悔アラン慎重審議以テ事ヲ處シ遠算ナカラシコトヲ期  
セヨ、  
当局者ヨ諸君ハ輕忽不注意無責任ニモ此憫ムヘキ同情スヘキ弱貪者  
煩悶懊惱者ヲ巧ニ法網ヲ罾リテ侮辱シ圧迫シ蹂躪シ犯罪ヲ挑発シ  
又ハ製造スルカ如キコトナキヤ

第三節

官吏

予案ノ膨脹ハ年々歳々ノ通常率ナリ人権尊重危害予防福利増進ノ爲  
ノ膨脹ナラハ甚タ可ナリ、  
疑フヘカラサルヲ疑ヒ、圧迫シ蹂躪シ犯罪ヲ挑発シ製造スルナラハ  
予算ハ如何程膨脹スルモ尚ホ足ラサルノミナラス予算ノ膨脹ハ吾人  
ニトリテハ實ニ恐ルヘキモノナリ何トナレハ吾人ヲシテ徒ラニ憤恨  
苦悩セシムル原動力ノ増加ナレハナリ、  
斯ノ如キ予算ノ膨脹ハ吾人ハ断シテ之ヲ許サス之カ監視ノ職ニアル  
議員ヨ嚴ニ糾明シ毫モ假借スルヲ勿レ、  
余輩嘗テ帝國図書館ニ於テ閲覧券ヲ求メント欲シ閲覧券請求所ノ下  
ニ寺田紙幣ノ落下シタルヲ発見ス直ニ之ヲ全回唇館受付ニ届出テシ  
ニ受付曰ク警察署ニ届ケラレタレト依リテ級宅ノ途次之ヲ届出ツヘ  
ク某署ニ出頭シタリ、待ツコト数十分査未リ受付ク言語態度頗ル不  
礼ナリ因ツテ其ノ不心得ヲ詰ルハ査曰ク一年ヲ経過セハ所有権ヲ取  
得スルニアラスヤト即チ寺田取得権ノ代償トシテソレシキノ不礼ニ

ハ甘ンセヨト云フ意ナラン然レトモ此取得権タルヤ彼ノ不礼トハ何等ノ因果干係ナシ然ルニ彼之ヲ云フ其ノ意ヲ得ス茲ニ於テウ余輩其不法ヲ責ムレハ彼ハ空嘯キテ平氣ナリ

噫々は一瑣事ニシテ微弱ナル一查ノ言傷ナリ然レハ此ノ一查ノ言傷能ク官界通有ノ三大惡弊凡ヲ暴露シテ余蘊ナシ左ニ少シク之カ註釈ヲ試ミンカ

一、彼等（一般官吏）ハ人民ニ對シテ傲慢不礼ハ通常事ト心得居ルナリ

是固ヨリ根柢ナキ不心得ニシテ全ク封建時代ノ官尊民卑ノ遺凡ニシテ官界通有ノ一大惡弊凡ナリ而シテ諸弊ノ原因實ニ茲ニアリ吾人ハ假借ナリ彼等ノ不心得ヲ難詰シ以テ此ノ惡弊凡ヲ矯正セサルヘカラス

二、一年ヲ経過セハ所有権ヲ取得スルハ法ノ規定ニヨルモノニシテ彼等カ其權利ヲ附與スルニ非ス然ルニ彼等自身カ恩惠的ニ權利ヲ

スルカ如キ口調態度ヲ以テ吾人ヲ嚇スハ即チ私憤（詰問）ヲ霽ラサンカ為ニ官權ヲ悪用スルモノニ非スヤ而シテ彼等（一般官吏）ハ之ヲ通常事ト心得居ルナリ

何故人民モ亦彼等ノ不礼侮辱ヲ甘受スルカ足他ナシ右難ヲ恐ルハカ故ナリ

右難トハ何ソ右難トハ彼等ノ不礼不法ニ對シテ少クモ難詰及抗不遜ノ態度ニテモアランカ彼等ハ怒レル猛虎毒蛇ノ如ク目ヲ瞋ラシ毒瓜ヲ現ハシ私憤ヲ霽ラサンカトモニ官權ヲ悪用シ巧ミニ法

網ヲ潛リテ压迫蹂躪シ犯罪ヲ挑発シ製造ス又毒氣ヲ吐キ即チ官權ヲ悪用シテ私憤ヲハラスナリ例ハハ職務上知得シタル事實ヲ巧ミ

ニ法網ヲ潛リテ人ノ名譽ヲ毀損シ以テ人ノ進退ヲ阻害シ或ハ巧ミニ法網ヲ潛リテ財産ノ損害ヲ蒙ランム

サレハ人民ハ彼等ヲ恐怖スルコト限リナク傲慢不礼ハ愚ニ如何ナル侮辱ニモ甘ニスルナリ



更ニ進ニテ彼等ハ此人民ノ恐怖及官権ヲ悪用シテ私利ヲ貪ルナリ  
即チ物質的ノ欲望ヲ満足スルナリ。

何々収賄事件何々流職事件ト四時其跡ヲ絶タサルハ此ノ公私ヲ紊  
リ官権ヲ悪用スルノ罪ナリ、

是封建時代ノ官権万能ノ遺風ニシテ官 界通有ノ一大惡弊風ナリ、  
吾人ハ奮闘努力シテ此惡弊風ヲ矯正シ我國民ヲ此毒爪此毒氣ヨリ

救ハサルヘカラス、

三、遺失物ヲ届出テ斯カル不礼ニ遣フナラハ敢テ手ニセサル者モア  
ルヘク或ハ亦私スル者モアルニ至ルヘシ、

斯クノ如クバ惜ニ天下ノ逋空ヲシテ空シノ埋朽セシメ國家ヲシテ損  
失セシムルノミナラス立法者ノ努力ヲ水泡ニ級セシメ即チ遺失物

法ヲ空文ナラシメ犯罪ヲ挑発シ製造スルニ近シ、是即チ彼等カ如  
何ニ職務ニ不忠実無責任ナルカヲ立証スルモノナリ、

是亦官界通有ノ一大惡弊風ナリ、

逋竇シテ以テ吾人ノ膏血ヲ絞リ徒テニ吾人ヲ疲勞貧困ナラシムル  
ハ是カ為ナリ。

故ニ吾人ハ嚴シク彼等ノ職務執行ノ状態ヲ監視シ彼等ノ不忠実無  
責任ヲ糾弾シ以テ此 惡弊風ヲ矯正セサルヘカラス、

余輩未ダ曾テ斯カル大金ヲ拾ヒシト非ス從テ所有權取得ノトハ氣付  
カサリシカ查ノ言ニヨリ始メテ之ヲ知ルヲ得タリ期滿チテ熟考スル

ニ斯カル所有權ノ取得ハ快カラサレ氏苟モ法律ノ規定ニヨリ正當ニ  
権利ヲ取得シタル以上ハ逋リニ之ヲ拋棄スルハ如何ナル点ヨリ考察

スルモ當ヲ得ス即チ余輩之ヲ有效ニ使用スルハ最モ當ヲ得タルモノ  
ナルヲ信シ遺失物ヲ取得シタリル未查等(受付查ニアラス)余輩ノ此

取得ヲ侮辱スル意ナランカ余輩ニ過フ毎ニ遺失物取得ノ話ヲ逋竇ス  
取テ齒牙ニ懸ケサレ氏時ニ憤激スルトナキニ非ス惡想像ト言ハバ云

ハレサルニ非ス然レ氏必スシモ然ラスト信ス、

一例ヲ拳ケンカ唐田ツ、三度拾ヒハ唐田ニナル學校ニ行カレルナド

ト(是前日戸口調査ニ査来リ職ヲ向フ拙学ナリト答フ(復向) 拙学ニテ  
辭ルヤト因ツテ余問フ君ハ学校ニ行キツ、アリヤ査答然リ余向辭ル  
ヤ査答解ラス茲ニ於テカ余輩余ハ餘裕ナキカ故ニ学校ニ行カス解ラ  
又余ニ試イテハ、同標ナリト答へ別レタリ査之ヲ同僚ニ話シタルモ  
ノカ(?) 折リニ觸レ事ニ当リ先ノ遺失物拾取ト強イテ因果干係ヲ結  
ヒ巧ミニ法網ヲ踏リテ余輩ヲ侮辱圧迫ス。

公明正大法ノ規定ニ從ヒ取得シタル者ニ對シテスラ尚且ツ斯ノ如シ  
況ヤ前科罪人ニ對シテオヤ彼等特種ノ巧ミナル侮辱圧迫ハ想像ノ上  
ナリ、噫々斯ノ如キハ犯人ヲレテ自暴自棄セシメ犯罪ヲ挑発シ製造  
スルニ近シ累犯者ノ多キ豈偶然ナランヤ、柳モ彼等ハ何ノ爲ニ斯  
カル侮辱圧迫ヲ加フルモノナルカ前記セル如ク、

一、公私ヲ紊リ官憲ヲ愚用シテ精神的慾望ヲ満足センカ爲メノ侮辱圧  
迫ナルカ、  
二、公私ヲ紊リ官憲ヲ愚用シテ物質的慾望ヲ要求センカ爲メノ侮辱圧

迫ナルカ、

三、此侮辱圧迫ニヨリテ犯罪ヲ予防セントノ幼稚ナル愚考ヨリ出テ  
タルモノカ、

一、ニニ就イテハ前記セリ三ニ就イテ聊カ説明ヲ試ミント欲ス。  
聞ク三ノ侮辱圧迫政策ハ多年官界ニ榮宿セル某老獺ノ指導ニ胎胎シ  
今ヤ多数ノ部下ニヨリテ誑歌慣用セララルモノ也ト

無智矇昧官权万能時代ナラハ此巧ミナル侮辱圧迫或ハ奇效ヲ奏セン  
然レ氏今ヤ文明進歩シ人権ノ尊重セラル、時代ニ於テハ此種ノ圧迫  
政策ハ反ツテ吾人ノ怨恨憤怒ヲ招キ犯罪ヲ挑発シ製造スルニ近シ縱  
シヤ一時奇效ヲ奏シタリ氏モハ己ムヲ得サル表面偽リノ鎮靜ニシテ  
何日何等カノ導火線ヲ得ンカ茲ニ一時ニ勃發シテ恐ルヘキ不祥事ヲ  
湧起セン彼ノ交番焼打騒動ハ好例ナリ豈戒メサル一カシヤ、麒麟モ  
老ユレハ驚馬ニカレ彼老後往時ハ或ハ才氣横溢ノ俊秀紅顏緑眉ノ高橋  
児ナリシナランモ今ヤ老顔ニテ亦昔日ノ傍ナク加フルニ多年官界ニ在リシ結果

頭ニ封建思想策窟ニ遊ニ驛馬トナリ此愚策ヲ敢テスルニ至リシモカ茲ニ於テカ知ル  
 指導者其人ヲ得サラシカ徒ラニ予算ヲ膨大セシメ而シテ何等ノ效果ヲ齎サハルノミ  
 ナラス及ツテ吾人ヲ害スルニ至ルヲ、茲ニ於テカ吾人ハ文官任用令ノ改正ヲ痛切ニ  
 感ス即人材ヲ廣ク朝野ニ求メ民情ニ精通スル適材ヲ適所ニ登庸シテ此遺憾ナ  
 カラシメサルヘカラス。

警察当局者ヨ思ハル压迫政策ニ更フルニ心服政策ヲ以テセヨ即罪人細民ノ如キハ憫ムヘキ  
 同情スヘキ者ニシテ彼強慾無道ナル政治家輩及無常ナル社会彼等ヲシテ其汝ニ  
 ラシムルモノナルヲ思ヒ彼等ニ接スルニ温愛懇情ヲ以テセハ彼等ハ必ス々諸君ノ徳ニ  
 感シ前非ヲ悔ヒ心服セン、斯クテ始メテ諸君ハ自己ノ職務ヲ完ラヌルノミナ  
 ラス必ス々社会ヨリ尊重サレン。

斯ノ如クニハ吾人ハ進ンテ他ノ官吏ヨリモ諸君ノ増俸ハ勿論生活ノ安  
 定ヲ保証スルモノナリ何トナレハ諸君ハ不眠不休何時榮夢ヲ破リ寂  
 勞ヲ撫シテ出勤シ殉職セサルヘカラサルヤモ測ラレス他ノ官吏トノ  
 対比ニ於テ頗ル同情スヘキモノアレハナリ。

### 第四節 華族

内ニ在リテハ酒池肉林酒ニ酔ヒ花ニ戯レ出テハ皇室ノ藩屏ト称シ  
 細民ヲ嚇シ果テハ其ノ肉ヲ喰ヒ血ヲ啜リ追ヘハ忍々名譽ノ影ニ墜レ  
 吾人ヲシテ遺憾措ク能ハザラシム

加フルニ彼ノ虎ノ威ヲ仮ルノ輩彼等ヲ總裁スハ會長ニ仰戴シ乃公ノ  
 家ニハ候爵モ末ル男爵モ末ル清深ニセヨナドト鼻齏カスノミナラス  
 侮辱的言動ヲ敢テシ毫モ憚ラズ侯爵男爵ヲ双肩ニ擔ヒ雅談ノ信用ヲ得  
 以テ生活ノ安定ヲ図ルハ可ナリ然レドモ己掃除ヲ等閑ニシ、子供ヲ  
 犠牲ニシテ顧ミザルノミナラス虎ノ威ヲ仮リテ吾人ヲ侮辱壓迫スル  
 ニ於テハ断ジテ之ヲ許サズ

華族夫レ何者ゾ一將功成リテ万骨枯ル彼等カ今日華族トシテ皇室ノ  
 殊寵ヲ辱フスルハ彼等又ハ彼等ノ祖先ノ勲功ニヨルコト勿論ナラン  
 又其ノ勲功ノ背後ニハ懐ムヘギ犠牲者ノアルコトヲ忘ル、コト勿レ

犠牲者ノ血涙因ツテ以テ彼等ノ今日ヲナサシメタルモノナルコトヲ  
思ヘ

嘗テハ國家國民ノ渴望タリシ華族モ今ハ國家國民ノ排斥怨嗟ノ標的  
トナリ延ビテ皇室ト國民即チ慈父ト赤子トノ間ニ遮ル牆壁トハナレ  
リ實ニ遺憾ノ極ナリ

茲ニ於テカ想起ス故國ニ宏壯雄大ナル邸宅金銀財寶ヲ有スルモ居用  
スル能ハズ乞巧トナリ身ヲ以テ遺レヌシク我國ニ隱遁シ居リシ披露  
公爵ハ今何處ニカ居ル露伯爵ハ如何ナリシゾ、露男爵ハ如何ナリシ

カ先鬼ノ明ナク櫻花ノ何看タルヲ知ラザル者ノ末路ハ斯ノ如シ  
噫々叔親愛ナル賢明ナル華族ヨ此社會ノ趨勢ヲ賢察シ櫻花ノ誇ヲ潔  
クセラレ吾界ノ平和ヲ攪亂シ我國我皇室ニ攸スル暴風ニ對シテハ我

強固ナル忠君愛國ノ七千万ノ赤子ヲ以テ牆壁トナシ我國我皇室ヲ擁  
護セシメ範ヲ諸國ニ示シ我皇威即チ國威ヲ中外ニ宣揚セラレンコト  
ヲ諸君ノ諸君ノ祖先我皇室我國ノ誇ノ爲ニ泣キテ諸君ニ勸ム

是諸君カ多年皇室ノ殊寵ヲ喬フシタル皇恩ニ報ユル所以ナルノミナ  
ラズ實ニ諸君ノ安全ヲ永遠ニ確保ニスルモノナリト信ス  
地位名望ニ幾々トシテ露國ノ轍ヲ誤ミテ累ヲ皇室ニ及ボシ汚名ヲ千  
載ニ遺スコト勿レ

### 第五節 政治家

以上論マル所ニヨリテ明カナル如ク同シク是レ陛下ノ赤子ニシテ一  
ツハ人以此ノ人アリ酒池肉林酒ニ酔ヒ花ニ狂ヒ醉フテハ亂暴狼藉在  
フテハ人権ヲ蹂躪シ國憲ヲ紊レ國法ヲ破リ至レリ盡セリ一ツハ人以  
下ノ人アリ

牛馬ノ如ク虐使セラレ奴隸ノ如ク踏マレ蹴ラル、モ防衛スル能ハ  
ス又管見ノ淚ニ鮪ルノ外ナシ

此 東情ヲ訴フルモ慈愍非道ノ彼政治家輩ニ應ラレテ通セズ抑ヘ難  
キ無念ノ淚ニ袖ノ乾ク暇ナシ

古来久多キ歴史ヲ有スル外國ニ於テスラニ三例外ヲ除ク外皆普通  
 選挙ヲ実施シ遺憾ナク民意ヲ代表シ共論政治ヲ詠歌ニツ、アリ  
 然ルニ我々ハ建國以來三十年一日ノ如クニニ英明仁慈ナル天子ヲ戴  
 クニ拘ラス天皇王ノ下ニ苦シム臣民ヨリモ尚悲惨ナル境遇ニアルハ  
 大光輝アル歴史ヲ汚辱スルモノナリ  
 サレバ吾人我國民ハ一日モ早ク普通選挙ヲ実施シ細民不幸者ヲ塗炭  
 ノ苦ヨリ救ヒ以テ此甚大ナル汚辱ヲ雪カサルヘカラス  
 先帝夙ニ民意ヲ尊重セラレ共論政治ヲ詠歌セシメントシテ憲法ヲ祭  
 布セラレタリ

然ルニ彼強姦非道ナル政治家輩吾々カ牛馬ノ如キ堪ヘ難キ苦痛ヨ  
 リ奴隷ノ如キ抑ヘ難キ疎疎ヨリ風前ノ燈火ノ如キ生活ノ不安定ヨリ  
 免レ、我國民ノ永遠ノ安全ノ為ニ社會風教善導ノ為ニ官民合同ノ為  
 ニ上下親愛ノ為ニ共論政治ノ為ニ我國ノ永遠ノ富強確實安全ノ為ニ  
 我國意宣揚ノ為ニ世界ノ平和ノ為ニ一日十次ノ志ヲ以テ普通選挙ノ

実施ヲ期待シツ、アルニ拘ハラヌ我欲即チ普通選挙実施ノ結果彼等  
 (政治家輩)ノ椅子ノ不安及一部ノ富豪ト結託シテ私腹ヲ肥ヤス能  
 ハサルニ至ランコトヲ恐レ尚早ナリ危険ナリナド、捏造虚ヲ構ヘ吾  
 々多数ノ細民ヲシテ塗炭ノ苦ヲナサシムルノミナラス立憲三十年十  
 ド、赫シ抑ヘ難キ無念ノ涙ニ咽ブ吾人細民不幸者ノ肉ヲ喰ヒ血ヲ吸  
 リ突戯スル状ハ惡鬼羅網ニ異ナラス強姦無道此上アルヘカラス  
 封建時代ノ彼武將ハ名ヲ天皇ノ代理ニ籍リ自己ノ權勢ヲ維持センカ  
 為メニ武ヲ以テ上下ノ間ヲ塞キテ人民ヲ犧牲ニス、今ノ政治家ハ名  
 ヲ國民ノ代表ニ籍リ自己ノ椅子私腹ヲ維持センカ為ニ選挙権ヲ以テ  
 (即チ選挙権ヲ吾人ニ與ヘスレテ)上下ノ間ヲ塞キテ人民ヲ犠牲ニ  
 ス、彼此手段ハ異ナレトモ其目的(我欲ノ為ニ人民ヲ犠牲ニシテ顧  
 ミサル)莫ハ同一ナリ、噫々我國公形ハ立憲國ナレトモ實ハ專制國  
 ナリ這ハ延ヒテ外交不振ノ原因ヲナシ吾人我國運ノ發展ヲ阻害シ吾  
 人我國民ヲシテ遺憾措ク能ハザラシム、茲ニ於テカ一部輕忽ノ士輩

萬機親裁ノ今日尙前述ノ暴虐無道アルハ畢竟陛下ノ御意思ニ基クモ  
 ノナリト早合矣シ吾人我國ノ誇リトスル此上下親愛吾人我國民ノ千  
 古ノ大確信タル此神聖不可侵ヲ一蹴シテ遂ニ畏クモ皇室ニ弓ヲ引ク  
 ニ至レリ實ニ難キ抑ヘ難キ抹殺スル能ハサル痛恨事ナリ、  
 我建國以來ノ此光輝アル歴史歴代天皇殊ニ仁徳天皇ノ廣大無邊ナル  
 仁徳及吾人ヲ無視スルコトノ甚大ナルヲ思ヘハ彼等ヲ醜トナスモ尙  
 足ラサルナリ

然レト敬慕措ク能ハサル慈父ヲ顧ミス最愛ノ妻子ヲ捨テ涙ヲ振掃シ  
 身ヲ抛テ多数ノ細民不幸者ヲ塗炭ノ苦ヨリ救ヒ外侮ヲ退ケントス  
 ル其ノ情ノ何ソ惻尊ナル實ニ一掬ノ涙ナキ能ハス、  
 内多数ノ人民ヲシテ塗炭ノ苦ヲナサシメ上下ノ間ヲ塞キ累ヲ皇室ニ  
 及ホシ此光輝アル歴史ヲ汚シ  
 外上下親愛君民同治ノ此平和國ヲシテ我利我利武斷主義ノ專制國惡  
 魔國ノ如ク誤解セシメ我國威ヲ失墜シ益々我國ヲシテ危険ナラシム

ルハ噫々何人ノ罪ゾ

彼強慾非道ノ政治家輩ヲ林シテ亂臣賊子ト云フハ誤リナルカ

然ラズ夫又ヲ按スルニ古来乱臣賊子輩横ニ極メ上下ノ間ヲ塞ギ強慾

非道以テ國家ヲ危殆ナラシムルヤ忠君愛國ノ我國民奮起シテ此亂臣

賊子ヲ撲滅シ父子ノ情ヲ暖メ國家ヲシテ安泰ナラシメシコトハ二三

ニシテ止マラス速クハ大化ノ改新、近クハ明治維新之ヲ立證シテ餘

アリ今ヤ我國ハ彼強慾非道ナル政治家輩ノ為ニ危殆ニ瀕ハ因ツテ我

々我國民ハ祖先傳來ノ此尊々國民性ヲ發揮シテ我國ヲ安泰ナラシメ

サルヘカラス

吾人カ滿腔ノ熱誠ト歡喜トヲ以テ祝フヘキ立憲ノ祝賀ハ抑ヘ難キ無

念ノ涙ニ咽ブ細及不幸者ヲ塗炭ノ苦ヨリ救ヒ強慾無道ニ堪ヘ兼不恨

ヲ吞レテ去リ宙ニ逆フ不幸者ノ聲ヲ慰服セシムヘキ普通選挙ノ

実施セラル時即普通選挙案ノ上下両院ヲ通過スル時ナリ

我親愛ナル細民労働者使用人又愛國ノ士ヨ元氣ノ金言ヲ忘ル、コト

勿レ降リ蹙ル火ノ子ハ拂ハサルヘカラス遊グルハ追フヘカラス目  
 指ス厥ハ日比谷ナリ目的ノ貫徹即チ普通選挙案ノ兩院通過ニテリ此  
 案ナルコト勿レ但シ此案ト正當防衛トヲ誤マルコト勿レ  
 普通選挙賛成議員ヨ諸君ノ背後ニハ国民多数ノ應援隊アルコトヲ志  
 ルコト勿レ履フルコト勿レ屈スルコト勿レ恐ルコト勿レ遠慮ス  
 ルコト勿レ諸君能ク備ヘヨ  
 普通選挙尚早論者ヨ此等カ株ツテ以テ可ナリト叫ブ其聲ハ凄倉極マ  
 リナキ大暴風後ノ氣息奄々タル吟聲ニハ非ザルカ  
 強大國ノ元首トシテ栄耀栄華ヲ極メ權勢ヲ弄シ以テ世界ヲ震眩シタ  
 ル露帝ハ如何ニ悲惨ナル最後ヲ遂ケシカ独帝ハ今如何ナル悲境ニカ  
 下ル埃帝ハ又如何ナリシカ我僉ノ為メニ正義人道ヲ無視シテ多数ノ  
 人民ヲ犠牲ニシテ顧ミザル因果ハ實ニ斯ノ如シ  
 我憤明ナル政治家ヨ序内ノ大勢ヲ考察シモヲ懐キテ泣ク我國民ノ衷  
 情及民心ノ歸嚮ヲ賢案シ民意ヲ尊重シ一日モ早ク普通選挙ヲ実施シ

以テ吾人我國民ノ期待スル有害無益ノ惡制度ヲ撤廢シ以テ父子ノ情  
 ヲ暖メ文官任用令ヲ改正シテ人材ヲ廣ク朝野ニ求メ民間ノ事情ニ精  
 通スル適材ヲ適所ニ登庸シ封建時代ノ官尊民卑官權萬能ノ惡弊風ヲ  
 矯正シ官民平等官民合同ノ実ヲ奉ケ或物ニ捉ハレタル偏狹ナル教育  
 方針ヲ刷新シ又良法ヲ制定シ以テ彼ノ惡潮流ノ源泉ヲ枯絶シ社会  
 ヲ良俗善風ナラシメ尙豪輩ヲ制スルニ贅澤稅ヲ以テシ(例ハハ藝妓  
 稅ヲ如キ絶滅ノ程度ニ増稅スルモ可ナリ)細民ヲ遇スルニ減稅及其  
 他ノ方法ヲ以テ衣食住即チ中以下ノ日用物ノ価格ヲ低廉ナラシメ勞  
 働法使用人法ヲ制定シテ労働者使用人ノ生活ノ安定ヲ保證シ以テ資  
 本家主人労働者使用人ヲシテ恆同一致専心營業ノ繁榮産業ノ發達ニ  
 顧慮奮勵努力セシメ國家ヲシテ永遠ニ富強ナラシメ以テ國威  
 ヲ中外ニ宣揚シ範ヲ世界ニ示シ諸國ヲ誘導シテ世界ノ平和ヲ確保セ  
 ラレヨ、斯クテ初メテ世界ノ職責ヲ究ウシタルモノト云フヘシ。  
 露獨ノ轍ヲ躡ミテ序内ニ此類ナキ此光輝アル歴史ヲ汚辱シ累ヲ皇室

ニ及ホスコト勿レ、  
 建国以來三十年一日ノ如ク君國ノ為メニハ死ハ鴻毛ヨリモ輕キヲ誇  
 トシ以テ我國ヲ擁護シ吾人ハ我國民ヲ安泰ナラシメタル吾人我國民  
 ノ祖先ノ苦節努力ヲ水泡ニ帰セシムルコト勿レ、  
 我幾千万ノ忠君愛國ノ士ヲシテ無心ノ汚名ヲ餘儀ナクセシムルコト  
 勿レ、

### 第三章 天職

細民不幸者ヲ塗炭ノ苦ヨリ救ヒ世界ノ平和ヲ確保シ以テ世界ノ同胞  
 ヲシテ戦争ノ慘禍ヲ免レムルハ目下急務ノ天職ナリ而シテ此天職ヲ  
 完ウシ得ル者ハ正義人道平和ノ為ニハ如何ナル犠牲ヲモ辞セサリシ  
 宇内ニ此類ナキ建国以來三十年ノ光輝アル歴史算キ國民性ヲ有スル  
 吾々我國民ヲ措キテ他ニ之ヲ求メ難シ、即チ吾々我國民ノ天職ナリ  
 ト信ス、吾々國民ハ萬難ヲ排シテ此ノ天職ヲ完ウセサルヘカラス、

而シテ此天職ヲ完ウスル第一ノ手段トシテハ吾々ハ先ヅ普通送奉  
 ヲ実施セシメザルベカラズ

古今東西ヲ通シ吾々ニ最モ尊敬セラル、キリスト釋迦日蓮ハ吾々ノ  
 此天職ヲ完ウセシメニ身体地位名望ヲ抛ケタルニ過キス吾々モ亦  
 此天職ヲ完ウセンが為ニ即普通送奉実施ノ為ニニ身体地位名望ヲ抛  
 ケタルニハ吾即キリストタルナリ釋迦タルナリ日蓮タルナリキリ  
 スト釋迦日蓮並他アランヤキリストモ釋迦モ日蓮モ思勉羅刹モ皆吾  
 ニアリ吾々ハ須ラクキリスト釋迦日蓮トナリテ芳名ヲ後世ニ留ム  
 ハシ思勉羅刹トナリテ汚名ヲ後世ニ遺スコト勿レ

### 我國民ノ天職 終



159  
142

大正八年六月  
大正八年六月  
十三日印刷  
發行

定價金五拾錢

不許  
複製

東京市本郷區元町一丁目三番地

著作兼  
發行者 鈴木良平

東京市本郷區本郷六丁目二番地

印刷者 石田正七

東京市本郷區本郷六丁目二番地

印刷所 文信社

